社会資本総合整備計画

平成27年 3月19日

計画の名称	長岡京市公共下水道事業整備計画		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　(5年間)	交付対象	京都府長岡京市

計画の目標

市内下水道の汚水管未普及地域には汚水管新設を、既設地域では耐震化および施設の長寿命化を行い常に快適な水環境を提供する。

計画の成果目標（定量的指標）

- 京都第二外環状道路事業の進捗に併せ、汚水管未整備である地区(32.5ha)への汚水管新設を行います。これにより下水道法による事業計画991.64haのうち976.7haが整備済みとなります（整備率98.5%）。
- 地震対策として幹線の耐震化を中心に、防災に係る下水道施設の整備を行います（今期対象：中央長岡・南長岡・西長岡処理分区等（対象計画人口：17,716人））。これにより、レベル2地震動に対し幹線の流下能力を保持可能とします。また、防災拠点へのマンホールトイレ設置も併せて実施し、震災時等の衛生的環境を一体的に確保します。
- 汚水管渠等（重要な幹線等22km）の下水道長寿命化計画の策定率をH25までに100%とする。
- 長寿命化計画により改築が必要な下水道施設の長寿命化達成率を管渠については57.7%、人孔ついては39.3%、マンホール蓋については2.4%とする。
- H27までに防災拠点である小学校に、マンホールトイレ用の排水用水や散水のための地下式雨水貯留施設並びに雨水浸透施設（雨水浸透マス10箇所）を設置する。また、併せて民間設置型の雨水貯留施設設置助成を推進（期間内80基）し、雨水の有効利用や良好な水循環の維持・回復を図る。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	備考
下水道(汚水)の整備進捗率(整備済み面積÷下水道法による事業計画面積)	95.2%	97.9%	98.5%	
下水道施設耐震化整備人口（（整備延長÷全体計画延長）×計画人口：17,716人）	11,590人	17,716人	17,716人	
災害用マンホールトイレ設置箇所数（市内防災拠点である小・中学校　全体14箇所中9箇所）	6箇所	9箇所	9箇所	
【汚水】下水道施設（重要な幹線等22km）における長寿命化計画策定率	0%	100%	100%	
管渠における長寿命化達成率（長寿命化対策実施済みの管渠（m）÷長寿命化対策をすべき管渠（430.42m））	0%	0%	57.7%	
人孔における長寿命化達成率（長寿命化対策実施済みのマンホール数（基）÷長寿命化対策をすべきマンホール数（28基））	0%	0%	39.3%	
マンホール蓋における長寿命化達成率（長寿命化対策実施済みのマンホール蓋数（枚）÷長寿命化対策をすべきマンホール蓋数（126枚））	0%	0%	2.4%	
雨水貯留浸透施設設置箇所数（市内防災拠点である小・中学校　3箇所中1箇所）	0箇所	0箇所	1箇所	
民間設置型の雨水貯留施設の設置達成率（雨水貯留施設設置基数÷H27年度末計画雨水貯留施設設置総基数）	0%	0%	100%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	354.02百万円	A	328.5百万円	B	0百万円	C	25.52百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	7.2%

交付対象事業

A１　下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-A1-1	下水道	一般	長岡京市	直接		汚水	新設	西長岡・南長岡処理分区未普及解消事業	汚水管 φ200mm L=3,300m	長岡京市	■	■	■	■	■	161	
1-A1-2	下水道	一般	長岡京市	直接		汚水	新設	長寿命化計画策定・長寿命化対策	長寿命化計画策定・長寿命化対策（管渠・市内一円）	長岡京市		■	■	■	■	122.6	長寿命化
1-A1-7	下水道	一般	長岡京市	直接		汚水	改築	地震対策管渠等整備事業	管渠耐震化 φ250mm L=982m	長岡京市	■					5	
1-A1-8	下水道	一般	長岡京市	直接		汚水	新設	地震対策緊急整備事業（マンホールトイレ設置事業）	44基　3箇所	長岡京市	■					23	地震対策緊急整備
1-A1-9	下水道	一般	長岡京市	直接		汚水	改築	地震対策緊急整備事業（中央長岡・南長岡処理分区地震対策管渠等整備事業）	管渠等調査業務一式	長岡京市	■					2	地震対策緊急整備
1-A1-10	下水道	一般	長岡京市	直接		雨水	新設	水循環再生プラン事業（貯留施設・浸透マス設置）	新世代下水道支援事業計画策定及び実施 雨水貯留池1箇所（V=4m³） 雨水貯留浸透マス10箇所	長岡京市				■	■	10.9	新世代
1-A1-11	下水道	一般	長岡京市	間接	個人	雨水	新設	水循環再生プラン事業（雨水タンク個人助成）	雨水貯留タンク助成　80基	長岡京市				■	■	4	新世代
															小計（下水道事業）	328.5	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名□	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

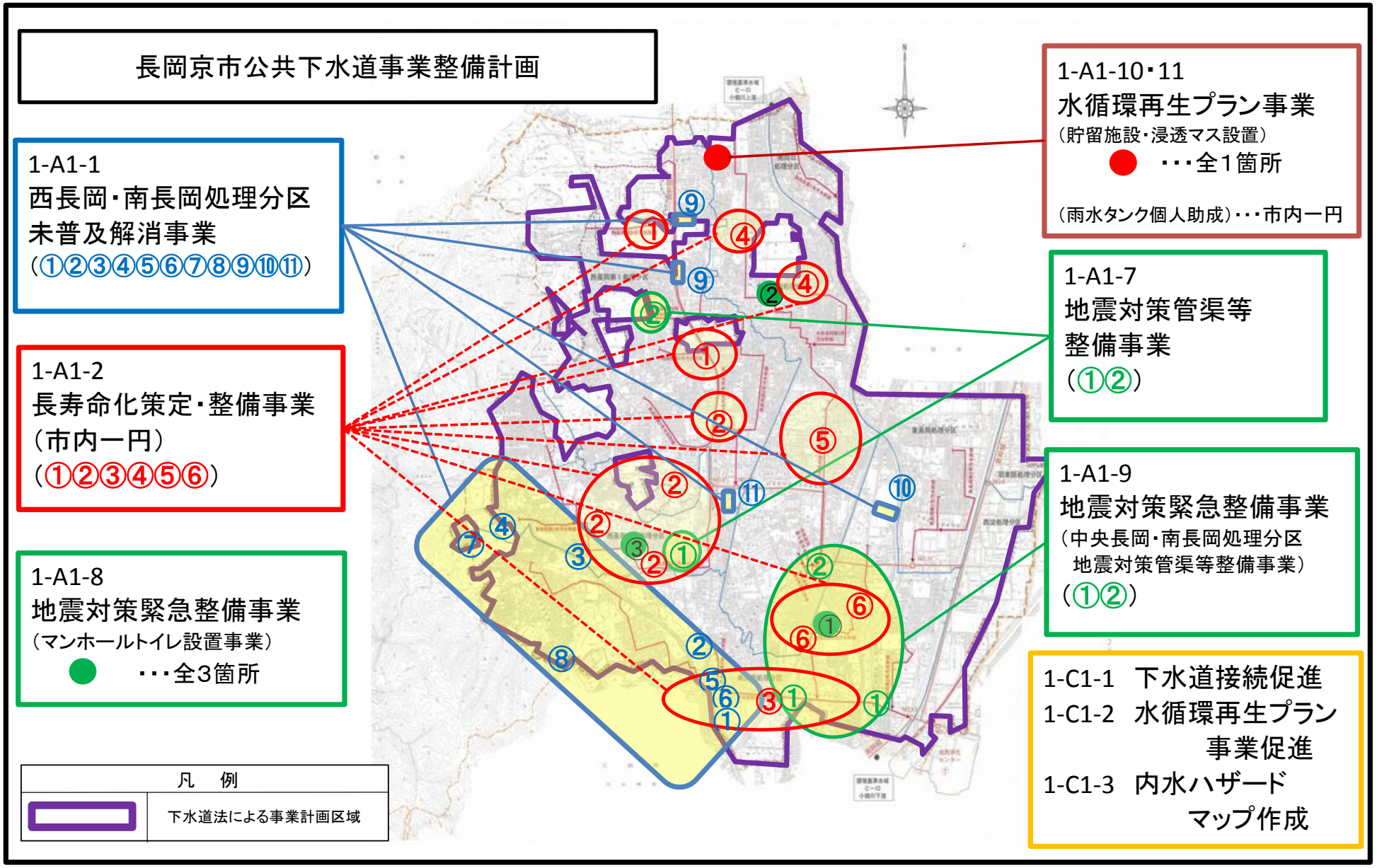
C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C1-1	下水道	一般	長岡京市	直接		汚水・パンフレット	下水道接続促進	下水道接続促進パンフレット作成	長岡京市				▬		0.42	
1-C1-2	下水道	一般	長岡京市	直接		雨水・パンフレット	水循環再生プラン事業促進	事業促進用パンフレット作成	長岡京市				▬		0.10	
1-C1-3	下水道	一般	長岡京市	直接		内水ハザードマップ	内水ハザードマップ作成	内水ハザードマップ作成	長岡京市				▬		25	
												合計			25.52	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1-1	基幹事業（1-A1-1）で行う未普及事業と合わせて実施し、下水道の整備が生活環境の改善、公共用水域の水質保全に役立つことをPRし、市民に対し整備後の接続理解を深める（接続意識の向上を図る）。	
1-C1-2	基幹事業（1-A1-10，11）と一体的に実施し、水害防除、水環境の維持・回復に対する事業理解を深め、浸水対策など市民の協働意識を高める。	
1-C1-3	基幹事業（1-A1-10，11）と一体的に実施し、内水ハザードマップを公表することによって、水害時における市民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図り、事業理解を深める。	

（参考図面）社会資本総合整備計画

計画の名称	1　長岡京市公共下水道事業整備計画		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	長岡京市



社会資本整備総合交付金チェックシート

（汎用タイプ）

計画の名称　：　長岡京市公共下水道事業整備計画

都道府県名　：　京都府長岡京市

	チェック欄
Ⅰ　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	✔
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	✔
Ⅱ　整備計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	✔
②定量的指標の明瞭性	✔
③目標と事業内容の整合性	✔
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	✔
Ⅲ　整備計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	✔
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	✔